

今夏も節電・省エネを

ご家庭で節電をお願いしたい期間・時間帯

7月1日(水)～9月30日(水)

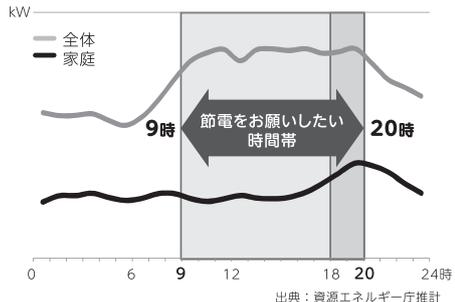
※お盆期間(8月13日および14日)を除く。

平日9時～20時

特にご家庭においては、電気のご使用が増える夕方以降(18時～20時)の時間帯のご協力をお願いします。

なお、この夏の需要として見込んでいる2010年度最大電力比: ▲7.1%を目安に節電をお願いいたします。

夏の平日のご家庭での電気の使われ方(イメージ)



出典: 資源エネルギー庁推計

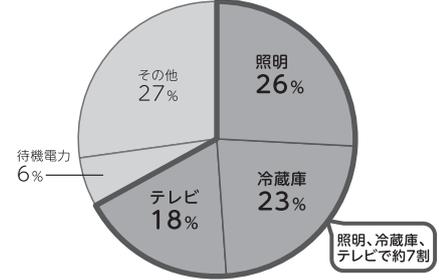
節電にご協力いただきたい電気製品

照明、冷蔵庫、テレビなどを中心に、普段からお使いの電気製品について節電のご協力をお願いします。また、外出の際には待機電力などの削減もお願いします。

ご家庭において夏の20時頃、在宅家庭では平均で約700Wの電力を消費しており、**照明、冷蔵庫、テレビで約7割**を占めています。

外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約200Wの電力を消費しています。

夏のご家庭での消費電力(20時、在宅世帯)



出典: 資源エネルギー庁推計

- **冷房の省エネポイント**
北海道でも近年、エアコンを導入する家庭が増えてきました。エアコン(冷房)を使用するとき、クーリズなど涼しく過ごす工夫をし、設定温度は28℃を目安に控え目に設定することが重要です。
- **冷房を使わず涼しく過ごす省エネポイント**
エアコンを使わずに、ちょっとした工夫で涼しく過ごすことができます。

- **家庭の節電・省エネ**
夏を涼しく快適に過ごすための工夫が、節電・省エネに繋がります。

今夏(7～9月)の北海道電力管内の電力需給について、供給余力は41万kW(供給予備率8.7%)で、安定供給に最低限必要とされる供給予備率3%以上を確保できる見通しです。しかし、需給見通しには、家庭や企業における節電の定着分を織り込んでいるため、国からは今夏においても、生活に支障をきたさない範囲でできる節電が要請されました。節電要請の期間は、7月1日から9月30日までの平日(8月13日～14日を除く)9時から20時までとしています。

- **市の節電**
市では、7月1日から9月30日までの間、集中的に節電の取り組みを進めます。今夏も、市の節電の取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

また、暑い日は図書館などの公共施設や木陰や水辺など自然の多い涼しいところへ出かけるなどクールシェアにも取り組みましょう。

夜間や早朝、気温が低いうちに窓(2か所以上)を開け扇風機やサーキュレーターを外に向けてまわすと、外から涼しい風が入ってきます。また、外出中はカーテンやブラインドを閉めておけば、日光で部屋の中が暖められるのを防いでくれます。できるだけ、窓の外で日光を遮る工夫(遮熱)をすることがポイントです。



- **エコドライブのすすめ**
環境とお財布にやさしいエコドライブを始めましょう。発進時に緩やかにアクセルを踏みこむこと、減速時には早めにアクセルをはなすこと、不要な荷物を下ろすことなどを実行し、二酸化炭素排出量を抑えましょう。

節電のポイントのほか、エコッキング、エコドライブ、生ごみの堆肥化など、家庭でできるエコライフ実践術をわかりやすく紹介しています。配布場所/環境事務所、本庁舎1階情報公開コーナー、公民館などの公共施設。ご希望の方には郵送します。市ホームページからもダウンロードできます。(「わが家のエコガイド」で検索)



エコ生活ははじめましょう
わが家のエコガイド配布中

【詳細】環境課 ☎ 381・1019

【詳細】環境課環境政策担当 ☎ 381・1395



水の事故から命を守りましょう

夏本番。水による事故が増加する季節。痛ましい水の事故を防ぐため、次のことに注意しましょう！



- ◇子どもだけで、川や池の近くで遊ばせないようにしましょう。
- ◇雨が降った後は、川の水位が増加することがあります。増水時は川に近づかないようにしましょう。
- ◇鼻と口を覆うだけの水があれば、どのような場所でも水の事故は起こり得ます。子ども用の浅いプール・お風呂やバケツの残り水にも注意しましょう。
- ◇子どもの水の事故は、周囲の大人が気を配ることで予防できるものです。危険な場所や危険なことを教えてあげることが大切です。

消防署では、水の事故に備え、江別河川防災ステーション周辺（千歳川及び石狩川）で水難救助訓練を予定しており、訓練の見学も可能です。※天候・災害などにより、中止になる場合があります。

日時 7月15日(水)、16日(木)、17日(金)、24日(金)
13時30分～15時30分

会場 江別河川防災ステーション周辺
(千歳川及び石狩川)

【詳細】 消防署消防課救助係 ☎ 382-5479

スプレー缶は穴を開けずに出してください

「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の中に「危険ごみ」が混入されていると、火災や爆発の危険があるため収集出来ません。火災を防ぐためにも、ごみは正しく分別し、「スプレー缶、ガスカセット缶、ライター」は使い切った後でも、「危険ごみ」の収集日にごみステーションに出してください。また、地域清掃などのごみも同様に分別をお願いします。

※スプレー缶類は穴あけの際に爆発することがありますので、**中身のガスが残っていても穴は開けず**に「危険ごみ」の収集日に出してください。



【詳細】 廃棄物対策課 ☎ 383-4217

7月1日～31日は河川愛護月間です

河川敷地にごみを捨てたり、無断で使用したりすると、政令により3か月以下の懲役か20万円以下の罰金が科せられます。

河川敷地を使用したい場合は、必ず河川管理者へご相談ください。

竜巻から身を守るために

竜巻は積乱雲に伴う激しい空気の渦巻きです。一般的に直径は数十～数百メートル、数キロメートルに渡って移動し、家の倒壊や自動車が飛ばされるなど、人命に関わる非常に大きな災害が発生します。気象台では、竜巻のおそれがある場合、一日程度前に「雷と突風に関する気象情報」、数時間前に「雷注意報」、直前に「竜巻注意情報」を発表します。特にお住まいの地域に「竜巻注意情報」が発表されたら、周囲の状況に気を配ってください。

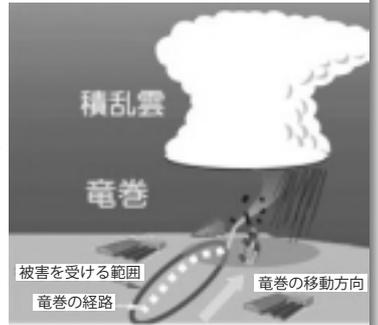
□積乱雲が近づくと兆し

- ・真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなり、冷たい風が吹き出す。
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見え、大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

□竜巻が間近に迫ったら

- ・屋外では頑丈な建物の中に移動する。
- ・頑丈な建物がない場合は、なるべく低い場所で姿勢を低くして頭を守る。
- ・屋内ではカーテンを閉め窓から離れて、1階の丈夫なテーブルなどの下に入って頭を守る。

【詳細】 札幌管区気象台天気相談所 ☎ 611-0170



竜巻のイメージ図

ハチに気を付けましょう

【ハチに刺されたら】

- ①すぐに毒を吸出しましょう。
- ②はれや痛みには、傷口を冷やすのも効果的。
- ③はれや痛みがひどくなる前に病院へ行き、薬を服用しましょう。



【巣を見つけたら】

被害が出る前に専門業者へ駆除依頼を！（有料）

【巣の特徴は？】

木を噛み砕いた粗い紙のような材質が特徴です。

【詳細】 環境課自然環境担当 ☎ 381-1046

【河川管理者】

北海道開発局札幌開発建設部 ☎ 382-2358

北海道空知総合振興局札幌建設管理部

☎ 561-0201

江別市建設部土木事務所治水課 ☎ 383-5900

【詳細】 江別市建設部土木事務所治水課



江別市平和のつどい

(戦没者の追悼と平和の祈念を合わせた行事です)

江別市では昨年、平和都市宣言を行い、恒久平和を誓う象徴として平和の碑を建立しました。本年度からこの碑の前で、戦争で亡くなった方を追悼し、児童生徒をはじめ多くの世代の市民で恒久平和を祈念する「江別市平和のつどい」を開催します。直接会場へ。

日時 7月22日(水) 15時～

会場 平和の碑前(市役所正面駐車場)

次第 黙とう、献花、平和都市宣言の朗読、折鶴の伝達、平和の誓いなど

※当日は、市内各校の児童生徒が参加します。
※服装は自由です。お気軽にご参加ください。
※少雨決行。荒天の場合は江別市民会館小ホールで行います。

【詳細】 健康福祉部管理課 ☎ 381-1090

